安全センター

[発行]
尼崎労働者安全衛生センター
[連絡先]
〒660-0802
尼崎市長洲中通 1-7-6
TEL・FAX 06-4950-6653

明日への伝言
アスベストショックからノンアスベスト社会へ

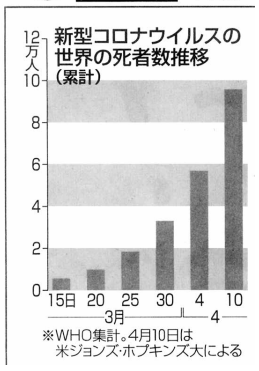
1,890円（当センター割引あり）

新型コロナ・インフル・バッタ！

“パンデミック”（世界的大流行）の中で、労働組合の立ち位置を決める

中国湖北省武漢発（開示は遅れる）の新型コロナウイルスへの感染者が、いまや世界185カ国・地域で160万人となり、死者も10万人に迫っています。（4月10日）多くの国が国境を封鎖しました。WHOは、まだ感染者の99%が中国であった1月30日の段階で「国際的に懸念される公衆衛生上の緊急事態」と宣言しています。そして、ヨーロッパで感染が急拡大した3月11日、この世界的大流行の事態をパンデミックと言い表しました。（テドロス事務局長）

神戸新聞4月11日
5 国際 14版



日本は感染者6899人、死者133人　毎日新聞4/11

新型コロナウイルス感染者が多い国・地域
※日本時間10日午後現在。米ジョンズ・ホプキンズ大の集計から

	感染者	死者
世界	160万3330人	9万5758人
米国	46万6299	1万6686
スペイン	15万3222	1万5447
イタリア	14万3626	1万8279
フランス	11万8785	1万2228
ドイツ	11万8235	2607
中国	8万2924	3340
イラン	6万6220	4110
英国	6万5872	7993
トルコ	4万2282	908

労働者・市民・学生と共に
安倍首相は歩めるのか

日本では、2月3日横浜に停泊したクルーズ船「ダイヤモンド・プリンセス」内の隔離が不十分で感染を拡げ、検査体制の不備が不安を拡大し、国際的不信を買うことに。3700人の多国籍の船中での、感染者の隔離管理は無理だったのではないでしょうか。神戸大岩田健太郎教授の「船内はものすごく悲惨な状態で、心の底から怖いと思った」のメッセージは、多くの人を驚かせました。3月1日全員の下船が完了し、現在723人の感染と12人の死亡が確認されています。

＊

安倍首相は2月27日、突如として政治的判断で寝耳に水の小中高校等の全国一斉休校要請に踏み切りました。その前日の大規模イベントの自粛も含めて事前の政府専門家会議への相談はされていません。国の指導者として国民に丁寧な説明と説得が必要な時にです。

このすぐ後に、日本小児科学会は子供の感染についてQ&Aを公表。子供の感染者数は少なく、重症例はほとんどないとしています。

東京オリンピックの延期（3月24日公表）など難問の重なるこの時期にこそ、私たちは本当に信頼に足るウソのない国のリーダーを持たないといけません。（会社や労働組合の指導部でも同じことです。）

アメリカはインフルエンザも
ものすごい

一方で、アメリカのインフルエンザ患者（A型が主？）が今シーズン2600万人に達し、25万人が入院、死者1万4000人というアメリカ疾病対策センターCDC（連邦機関）の発表については、日本でもきわめて報道が少なく、あまり知られていないようです。2017年の冬には、何と6万1000人がインフルで命を落としています。アメリカ人は誰とでも親しく握手やハグをするが手を洗わない、かなり症状が悪化しないと医療機関に行かない（健康保険制度の問題？）とか言われています。（日本では手洗いの励行等のせいか今のところ例年の3分の1くらいとか）

そのアメリカでトランプ大統領も甘く見ていた新型コロナ感染が大爆発し、ニューヨークの死者は9・11テロを超えて3200人に達しました。（全土での死者は感染46万6299人中1万6686人）アメリカでは、今年3月の銃の購入が過去2番目、200万丁近くに達したと言われています。銃の販売店は日常生活に必要不可欠な店舗として「外出禁止令」の下でも営業を認められているのです。

PCR検査が進まない

私たち安全センターでも、新型インフルの流行した2009年の交流会で各職場の対策、対応を検討しました。当時の『安全センター』90号に「ドアの取手や電気のスイッチなど、感染経路の消毒を実施している事業所もありました。またマスクの配布が行われた事業所もあったようです。手洗いの実施については徹底されていない企業が多くありました」と出ています。

＊

さて、ずっと言われ続けているのが新型コロナウイルスへの感染者を見つけるPCR検査が、3月からは保険適用もされたにも関わらず、極端に進まない理由です。（4月7日で6万4387件）始めはオリンピックをやるために感染者を少なく見せているんではないか、と言われました。（本当だったらとんでもないことですが）そのうち、専門家会議を仕切っている国立感染症研究所（感染研）が金とデータを他へ広げたくないからという人も出てきました。検査を増やせばコロナ感染者が次々運ばれ、医療・病院崩壊につながるという心配を言う人もいます。

欧米諸国や中国・韓国等と差があります。単純に検査体制の準備や仕組みづくりが極端に遅れていたのか、謎です。尼崎市では、保健所からの依頼で市立衛生研究所が3月17日までに66検体の検査を行ったことが報道されていました。

ただ、結果として他国に比べてまだ日本の死亡者は少ない。元々手洗いの習慣が身についているとか、マスクを着ける人が多いとか、握手の習慣がないとか、BCG接種の効果かもしれないとかいろいろ言われています。北海道は早い時期（2月28日）に知事が緊急事態宣言で不要不急の外出をしないよう求めたことで、感染拡大を抑えることができました。ドイツも死亡率が少ないことで知られていますが、ドイツは早い時期からウイルス検査を進め、感染者の発見に勤めました。また、人工呼吸器のある集中治療室もイタリアの約5倍、二万五千あるということです。台湾も水際対策と海外から戻った人の隔離措置を徹底したことや、政府による全マスクの買い上げと公平な配布で感染数と死者を最低限に抑えました。人口1000万のスウエーデンは学校も飲食店も今まで通り。外出制限もしていません。どうなるのでしょうか。イギリスも“集団免疫”を作り出すとし、学校閉鎖や入国制限などはかけていませんでしたが、3月16日、方針を厳しく転換しました。（4月には感染し集中治療室入りしたジョンソン首相が一般病棟へ移りました。）

ほとんどの人に初めての歴史的経験

このような全世界的事件を経験することはあまりありません。スペイン風邪と呼ばれる最初のインフルエンザの流行は1918年から19年のことです。5億人が感染し、日本でも国民の4割の2300万人が感染、39万人（以上）が死亡したとされています。1300年代のペストではイギリスやフランスで国民の半分以上が死亡。結核、ハンセン病やエイズHIVやマラリヤ、エボラ出血熱、MERS等も頭に浮かんできます。

それほどの恐るべき感染症ではないと思うのですが、新型コロナウイルス感染症（COVID―19）の特徴は「怖くない。しかし、怖い。だから、怖い」だそうです。

（岩田健太郎）風邪と同じような症状で、感染しても8割の人は自然に治るし、若いほど直りやすい。だから街中を歩きまわったり、仕事に行ってしまう。これが残りの2割の人に感染し、その中でも高齢者や基礎疾患（糖尿病や循環器疾患など）のある人の致死率を7%～15%ぐらいに高めてしまう―だから怖いのです。症状が何もないのに感染力があって、知らないうちに感染者を拡げています。味覚や嗅覚だけを失っているというケースも少なくありません。）

バッタが1300万人の食料を奪う

唐突ですが、そこへ加えてバッタの恐怖です。2、3年前に『バッタを倒しにアフリカへ』という本がベストセラーになりましたが、最近の非常事態宣言の報道で初めて本当に私たちの腑に落ちました。アフリカ東部ケニア、エチオピア、ソマリアでは過去数十年で最大のバッタの群れの襲来で、国家として深刻な食糧難に陥る危険があるとしています。これも最近の気候変動が影響しているのでしょうか。

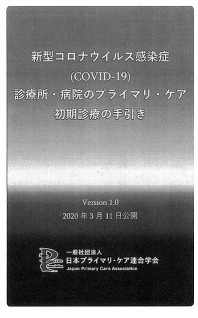
ケニア北部の自然保護区で1日、飛び回るサバクトビバッタの大群＝AP　'20・2・4 朝日

こういった後進の国々では、そもそも新型コロナへの感染を防止しようとしても、石鹸で手を洗う設備がないといいます。世界人口の40%、30億人は自宅に手洗いの設備がないとユニセフが明らかにしました。労働組合でもがんばってささやかな寄付でも進められれば大きいです。尼崎を代表していくつかの組合でアフリカと言わずまずアジアへ石鹸を持参して、手洗い設備の設置を手伝ってはどうでしょうか。

少し状況の改善したと思われる中国浙江省の紹興市から友好都市西宮へ医療用マスク3万8千枚、防護服千着、ゴーグル三千個が届いたそうです。こういう時こその友好です。もう一方で嫌な話。幼稚園や保育園に備蓄マスクを配布しているさいたま市が、朝鮮初中級学校の幼稚部（大宮区、園児41人）には配布しないことにしていたという話。「子供の命を平等に扱ってほしい」と抗議を受けて撤回したそうですが、気持ち悪くなります。

労働組合として、今すべきことを

今、私たちは歴史的事件の真っただ中にいます。ひげダンスの志村けんも亡くなってしまいました。新型コロナウイルス感染症に効く薬や予防のウイルスもまだ開発途上です。のどが引っかかって咳をしても、周りが不安げに見てくる雰囲気。人のくしゃみや咳、会話で飛ぶしぶき（飛沫）を防ぐにはしばらく人と適当な距離をとるしかありません。「大規模なイベントへの参加を控えたり、密閉・密集・密接の3条件が重なる場所を避けたりすること」（西浦博北大教授）でしばらくをしのぎます。〈3密〉です。丁寧に手を洗って接触感染を防ぐこと。マスクも鼻や口の加湿に役立ち、防御機能を高めるとされています。



私たちもしばらく会議を開けずに来ています。今も毎日出勤している工場・職場の雰囲気はどうですか？自分たちと、そしてより立場の弱い人たちのために、労働組合は、あなたはいま何をしていますか。（飲食宅配代行サービス「ウーバーイーツ」の労組は配達員にマスク・消毒液を配布すること、危険手当を要求しています。）

＊

7日に緊急事態宣言を出した後、今日11日安倍首相は「いまだ通勤者の減少が十分ではない」として、職場への出勤を最低7割減らすように要請しました。

これに対して〈労働組合は、労働者や市民の生命の安全を守るために各労組はコロナ感染が治まるまで、主要な工場・職場でストライキに突入するよう指示を出した。そして、その損害を、組合みずからの闘争積立金、経団連側の膨大な内部留保、無駄使いを許さぬ政府の集めた税金で賄うと発表〉は、まだしていません。